

計量管理協議会々報

< 第 5 1 次 通常 総会 開催 >



藤野会長挨拶

去る5月19日に本会の第51次通常総会が開催され、盛会のうちに無事終了いたしました。ここにその概要をお知らせいたします。

日 時 平成27年5月19日(火) 14:30～

場 所 オークラ千葉ホテル

出席会員数 出席34社 委任状17社

(会員数 61社)

来 賓

千葉県計量検定所所長 根本 正志様

(一社)千葉県計量協会会長 恵藤 敏郎様

1. 開会の辞

第一副会長 富士石油(株) 袖ヶ浦製油所
水芦 秀夫部長

2. 会長挨拶

みなさんこんにちは。当協議会の会長を務めます、D I C株式会社千葉工場の藤野光雄でございます。開会に当たりまして一言御挨拶させていただきます。

本日、第51次通常総会の開催に当たり千葉県計量検定所根本所長様はじめご来賓の皆様、並びに会員各社様には、御多忙中にも関わらず御臨席を賜りありがとうございます。また準備に当たられました役員会社の理事の皆様にもこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

平成26年度は、本千葉県計量管理協議会が設立50年という節目の年を迎えることができ、記念講演ならびに記念誌発行という50周年記念行事を実施できたのも、これまでさまざまな形で当協議会を支えてきてくださった関係官公庁をはじめ会員各社様のおかげであり、厚く御礼申し上げます

さて平成26年度は4月の消費税率アップ後のGDPの落ち込みはあるものの、秋に実施した新たな緊急緩和策により株価は高値を維持し、これに加え円安、原油安が景気を下支えてきました。又、スポーツ界では錦織選手の躍進が続いており、サイエンス分野では青色LEDで赤崎、天野、中村の3博士がノーベル賞を受賞するなど日本人が活躍した年でもありました。一方、ISによる日本人人質殺害及び各地のテロ、東欧ウクライナ内戦継続等、中東アジアをはじめ世界各地で政情が不安定であり、アジアインフラ投資銀行への不参加もあって近隣の中国・韓国との関係改善もあまり芳しくありません。

平成27年度は円安に支えられ、春闘では10年ぶりのベアアップを実施する企業が増えており、

株価も一層の高値をつけております。しかしながら安倍政権が成長戦略の柱と位置づける環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の進展もいまだ不確定であり、又、世界の経済を牽引してきたBRICSの停滞、なかでも中国が高度成長から安定成長へと新常态移行に舵を切るなど国内経済に与える影響は予断を許さない状況であります。

このような状況下、計量はわたしたちのくらしや経済・文化の分野において、利便性・安全性・公正確保などの点で重要な役割を果たしており、また企業活動においても製品品質の向上、生産性の向上、更には環境保全の強化に欠かせないものとして重要な役割を担っています。

こんにち安全安心への関心の高まりなど適正計量の重要性は増しており、一方では計量に関わる人材の世代交代が進む中で技術伝承が喫緊の課題です。従いまして当協議会といたしましては計量思想の普及強化を含めた各会員への必要な情報発信が不可欠であると考え、これらの要望に応えるべく本年も研修見学、意見交換、本協議会のホームページ更新を担当理事の尽力により企画しております。

更に当協議会が会員となっております一般社団法人千葉県計量協会が組織体制の充実と財政基盤の強化を目指し、平成28年度から当協議会を含む関連7団体の部会化も行われようとしております。

ただ今から、50周年記念行事を含む平成26年度事業活動と平成27年度事業計画ならびに部会化につきましてご報告しご審議賜りますが、皆様におかれましては、忌憚のないご意見を頂きまして有意義な総会と致したく存じます。今回、部会化をご承認いただければ、当協議会としての総会も今年が最後となり、来年は計量協会の会員として総会を開催・参加することになりますので、その際は従来に増してご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に、ご来賓の皆様、会員会社の皆様の尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご繁栄を心から願ってご挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。



千葉県計量検定所 根本所長

3. 来賓祝辞

ただいまご紹介にあずかりました、計量検定所の根本です。私は、この4月から、所長として赴任いたしました。よろしくお願いいたします。

本日は、総会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

本日ここに千葉県計量管理協議会の第51次通常総会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、会長の藤野様をはじめ、会員の皆様には、日頃から本県の計量行政の推進にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和40年の設立以来、51年と半世紀以上に渡り、適正な計量管理の実施と計量管理技術の向上を図り、本県経済の発展に寄与され、また、計量思想の普及啓発にも大きく貢献されてこられましたことに深く敬意を表します。

また、本日、計量管理優良事業場、計量管理功労者、優良計量技術者及び計量管理強調月間のポスタ

一・標語に係る会長表彰が行われるとのことですが、受賞される皆様には、深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

この受賞を契機に、その卓越した技能・技術をさらに発揮され、引き続き適正な計量管理の推進のために御尽力くださいますよう、お願い申し上げます。

さて、内閣府の「月例経済報告」などでは、景気は、緩やかな回復基調が続いており、個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっているとのことですので、今後も着実な景気の回復を期待したいところです。

このような状況においても、計量管理は、あらゆる産業における、生産活動や研究開発の基本を担っております。また、県民生活のいろいろな面で深くかかわりあっています。

計量検定所としましては、今後とも千葉県計量管理協会と連携を図り、適正な計量の実施の推進を図ってまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、千葉県計量管理協会様のますますの御発展と会員皆様の御活躍を祈念申し上げまして、挨拶といたします。



総会会場 熱心に聞き入る参加者

4. 総会成立報告

本日は出席数34、委任状17であり、会員数61の二分の一を超えるので、本総会が成立することが報告された。

5. 議長選出

会則第11条第3項の規定により、会長事業場であるD I C(株)千葉工場伊藤氏が議長に選出された。



伊藤議長

6. 議事録署名人の選出

議長一任となり、J F Eアドバンテック(株) 藤原氏が議長より指名選出された。

7. 附議事項

第一号議案 平成26年度事業報告について

(報告者 第二副会長 (株)荏原製作所富津工場 横田氏)

議案集のとおり報告し承認された。

第二号議案 平成26年度収支決算報告および監査報告について

(1) 収支決算報告

(報告者 第二副会長 (株)荏原製作所
富津工場 横田氏)

収入決算額 2,804,575 円

支出決算額 2,351,420 円

差引き残高 453,155 円

議案集のとおり報告し承認された。

(2) 監査報告

(報告者 監事 KHネオケム㈱ 小出氏)

平成26年度千葉県計量管理協議会の決算書及び帳簿類を監査の結果、適正であることを認めます。

平成27年4月9日

監事 KHネオケム㈱

千葉工場 小出 勉

監事 JFEアドバンテック㈱

東日本事業所 藤原 善治

議案集のとおり報告し承認された。

第三号議案 平成27年度事業計画(案)及び同年度収支予算(案)について

(提案及び説明者 第一副会長

富士石油㈱袖ヶ浦製油所 藤原氏)

平成27年度事業計画(案)

平成27年度収支予算(案)

平成27年度事業費予算明細(案)

議案集のとおり報告し承認された。

第四号議案 役員改正(案)について

(提案及び説明者 第一副会長

富士石油㈱袖ヶ浦製油所 藤原氏)

新役員の改選について、理事輪番制にもとづき第289回理事会にて選出した新役員候補について提案し、承認された。その後、別室にて臨時理事会を開催し、理事の互選により、会長を富士石油㈱袖ヶ浦製油所に、第一副会長を丸善石油化学㈱千葉工場に、第二副会長を極東石油工業(同)千葉製油所とすることで承認された。総会を再開し、臨時理事会の審議内容を報告した。

第五号議案 千葉県計量管理協議会が(一社)千葉県計量協会の会員から部会に移行する件について(案)について

(提案及び説明者 第一副会長

富士石油㈱袖ヶ浦製油所 藤原氏)

議案集のとおり報告し承認された。

第六号議案 その他について

会員からの提案事項の申し出をお願いしたが、特に提案はなかった。

以上をもって総会の審議事項は全て終了した。

8. 表彰式

I. 表彰委員会審査報告について

(審査報告者 第二副会長 ㈱荏原製作所
富津工場 横田氏)

(1) 計量管理優良事業場

平成26年12月に実施した計量管理実施状況調査を参考に書類選考、現地審査を行った結果、下記の通り決定し、3月5日の理事会にて承認を受けた。

- ・出光興産㈱ 千葉工場 殿
- ・電気化学工業㈱ 千葉工場 殿



(2) 計量管理功労者

事業所推薦及び理事会推薦にもとづき審査を行った結果、下記の通り決定した。

- ・水野谷 禎勇 殿
JNC石油化学㈱市原製造所

(3) 優良計量管理技術者

- ・鶴澤 宏 殿 丸善石油化学㈱千葉工場
- ・森 美喜雄 殿 JSR㈱千葉工場

上記受賞者に対し会長より表彰状、楯、記念品をそれぞれ贈呈した。



II. 平成27年度「計量管理強調月間」ポスター、 標語の表彰について

(審査報告者 第二副会長 (株)荏原製作所
富津工場 横田氏)

応募数 ポスターの部 4点
標語の部 117点

①ポスターの部

特賞 1名 優秀賞 2名

②標語の部

特賞 4名 優秀賞 10名

3月5日の理事会にて審査を行い選出した。



ポスターの部、標語の部表彰者による記念撮影

①ポスターの部

特賞 巳扇 宏一 殿
出光興産(株)千葉工場
優秀賞 富里 由加里 殿
(株)荏原製作所富津工場
山口 昭芳 殿
JFEスチール(株)
東日本製鉄所(千葉地区)

②標語の部 特賞

・安心と確かさ見つめる厳しい目
適正管理で高まる信頼
* 薄井 義行 殿
富士石油(株)
袖ヶ浦製油所

・数値は世界の共通語

正しい計量 高まる信頼

* 笠井 学 殿

JFEスチール(株)

東日本製鉄所(千葉地区)

・確かな技術を正しく伝承

未来に繋ぐ計量管理

* 下町 峻太 殿

三井化学(株)

市原工場

・「日々の管理」と「正しい知識」

信頼築く正確計量

* 八幡 剛司 殿

JNC石油化学(株)

市原製造所

上記受賞者に対し会長より表彰状、記念品をそれぞれ贈呈した。



9. 閉会の辞

第二副会長 (株)荏原製作所富津工場

緒方 大洋室長

以上で、すべての議事および報告を終了し、16時10分閉会した。

計量管理優良事業場表彰を受賞して

出光興産株式会社 千葉工場

この度、千葉県計量管理協議会第51次通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量管理協議会会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当事業所の計量管理の概要について紹介させていただきます。

1. 当事業所の概要

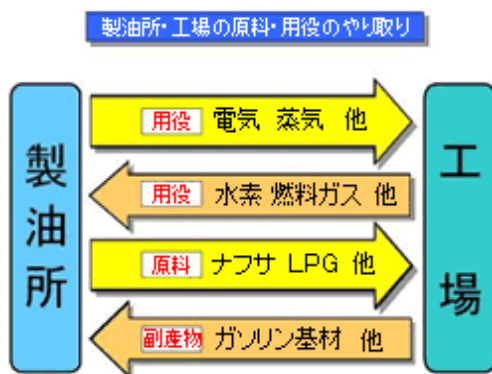
1975年(昭和50年)に「出光石油化学(株)千葉工場」として千葉の地で操業を開始しました。2004年に出光興産(株)と合併し出光興産(株)千葉工場として新たなスタートを切りました。

製油所と約50本のパイプラインを有機的に結び『出光千葉(製油所+工場)』を形成し国内では唯一

製油所と石油

化学工場が一体化された事業所です。製油所からパイプラインで送

られてくるナフサ、LPガス、重質油を原料に石油化学製品(エチレン、芳香族製品、ポリカーボネート、ポリプロピレン等)を生産しています。



【安全・品質・環境・地域社会への取組み】

□安全への取組み

千葉製油所・工場で「安全最優先」を基本に活動を展開しています。

□品質への取組み

品質保証の国際規格(ISO)の認証を取得し、「良い製品を経済的に安定供給する」ことに務めます。

□環境への取組み

「地元の人々に信頼される製油所・工場づくり」を目指し、地域の景観と環境に配慮した緑豊かな「公園工場」をめざします。

□地域社会との取組み

地域社会とともに発展することを大切に、地域活動に取り組んでいます。

2. 計量管理の概要

計量器の機種別台数を以下に示します。

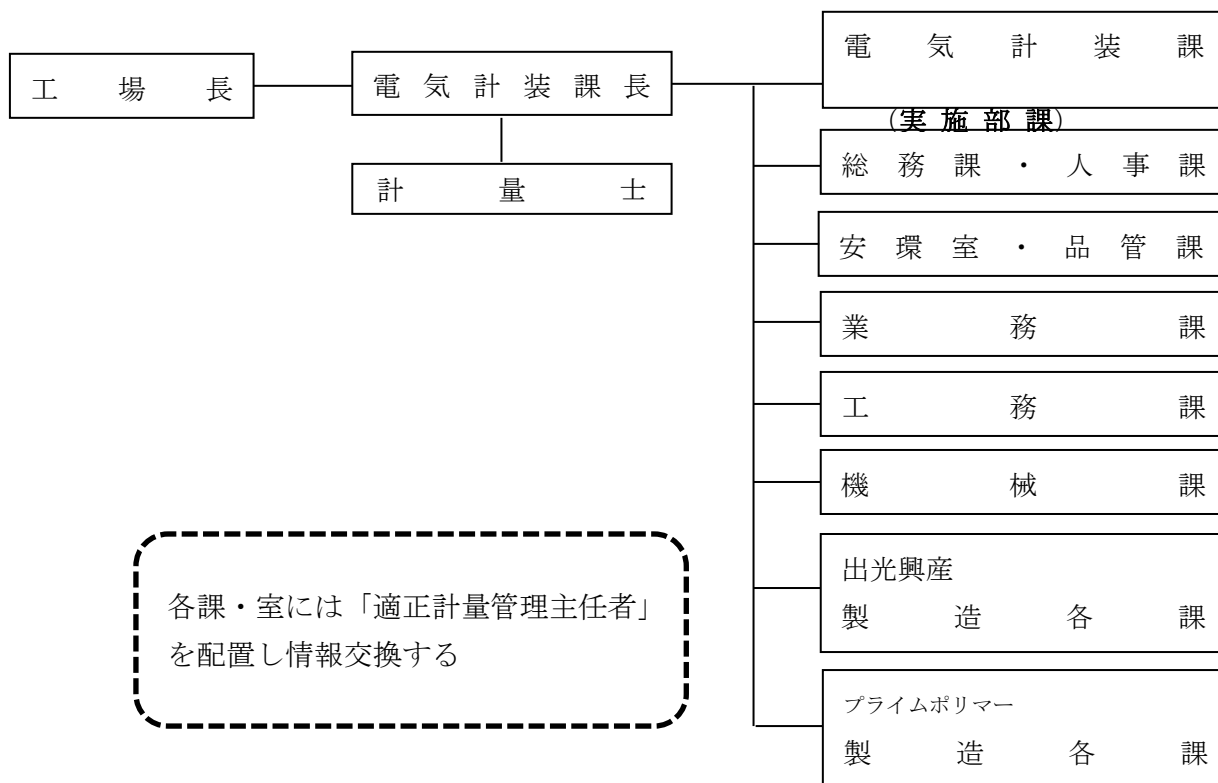
(1) 一般計量(測)器

- ・質量計 125台
- ・圧力計 9852台
- ・体積計 609台
- ・その他

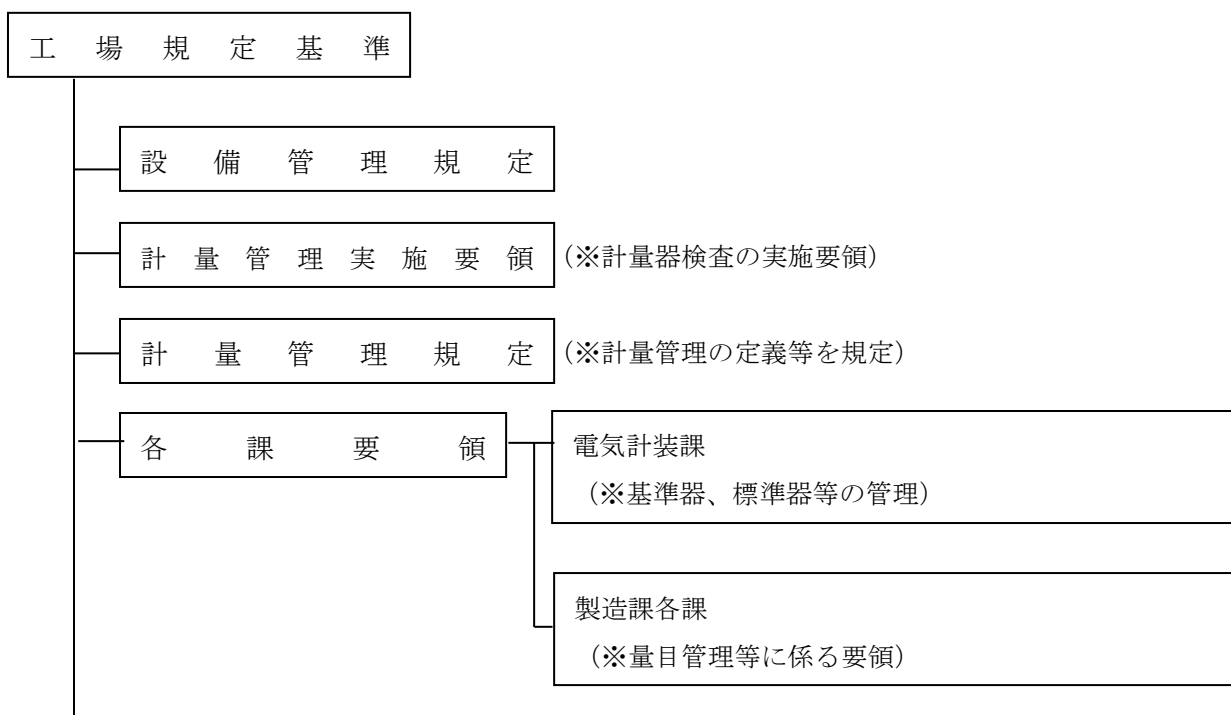
(2) 分析計(環境用)

- ・騒音計 3台
- ・pH計 6台
- ・大気濃度計 15台

3. 計量管理実施の組織



4. 計量管理規定



5. 計量器の検査設備

(1) 基準器

- ・ 1級基準分銅、2級基準分銅

(2) 標準器

- ・ 標準ガラス製温度計、重錘型圧力計、
鋼製巻尺、直流電圧／電流発生器 他

(3) 検査設備

- ・ ポータブルキャリブレーター、恒温槽、
リレーチェッカー、絶縁抵抗計 他

6. 計量器及び計装設備の管理状況

(1) 受入検査

計量器の新規購入又は修理の受入れ時に電気計装課（実施部課）により個別仕様書に基づき外観、寸法、性能等の確認を行います。また、必要に応じ製造者工場での立会検査を行います。

(2) 定期検査

①取引証明用計量器で検定対象計量器は年間検

査予定表により、法等で定められた周期に基づいて検査を電気計装課が実施します。

②基準器、標準器、検査設備については管理台帳

を作成し、それに定められた校正周期で検査し、精度、性能を確保しています。

(3) 臨時検査

計量器等に不具合がある場合は製造課より依頼を受けて電気計装課が臨時検査を行ないます。

(4) 日常点検、保守について

日常運転の稼働状況については製造課が管理しています。その中で確認された不具合については製造課で補修依頼を発行後に電気計装課が状況確認し、メーカー及び保全協力会社で対応を行っています。

7. 量目及び品質の検査

(1) 原料（エチレン、触媒、ナフサ等）

①量目検査

原材料の受入れに際しては、流量計（積算体積計、質量計等）を設置し量目の確認をしています。流量計は定められた周期により器差試験を実施しています。

②品質検査

受入れ品の品質基準を定め品質検査を実施。納品元の成績書を活用すると共に、バックチェックでサンプルを採取し品質検査を実施しています。

(2) 製品（エチレン、ベンゼン、ポリプロ等）

①量目検査

原材料と同様に実施しています。正味量表記の品については抜取り検査により計量器の稼働状況を把握するようにしています。

②品質検査

製品のロット毎に品質検査を実施する事を原則とし、品質異常がない製品の製造を実施しています。

8. 計量管理に関する改善活動

(1) 計量管理委員会（計量士＋実施部課＋各課の適正計量管理主任者）を開催し計量管理に係る事項について協議し計量管理の維持、向上に努めている。

(2) 機器の不具合発生についてはBM評価を行い再発防止及び改善を検討している。

(3) 日々の業務の中での改善活動（改善提案）により、点検作業等を改善している。

点から年に数回計量管理の指導を行っています。また、標準器、検査設備の不良による校正の不具合発生防止のため、協力事業場に対し管理状況の確認及び教育指導を行っています。

以上、当事業場における計量管理の概要を紹介させて頂きました。今後も今回の受賞を励みに更なる計量管理活動の継続的改善に繋げていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。ありがとうございました。

9. ISO関連取得状況

(1) ISO-9002 : 1992年取得

(2) ISO-9001, 14001 : 1996年取得

10. 教育・訓練

(1) 一般従業員

①技術レベル別にOJTを主体として自己開発の課題に組入れて社内教育を実施。

②社外教育では学会、メーカーのセミナー等への参加。

(2) 計量管理要員

①技術レベル別にOJTを主体として自己開発の課題に組入れて社内教育を実施。

②社外教育では、計量管理協議会主催の講習会、学会、メーカーのセミナー等への参加。

(3) 協力事業場

協力事業場からの納入製品の不具合防止の観

計量管理優良事業場表彰を受賞して
電気化学工業株式会社 千葉工場

この度、千葉県計量管理協議会第51次通常総会におきまして、当工場が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量管理協議会会員皆様のご指導、ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当工場の計量管理の概要について紹介させていただきます。

1. 当工場の概要

電気化学工業株式会社は大正4年、エレクトリックケミカルのパイオニアとして、カーバイトと石化窒素の製造販売を目的に設立いたしました。

1965年に操業を開始した当工場は、京葉臨海工業地帯の一角に位置し、電気化学工業株式会社の石油化学部門の拠点として、スチレンモノマーを源流とするスチレン系事業を主力に、特殊樹脂「クリアレン」や透明・耐熱樹脂をはじめとした多様なスチレン系樹脂の開発を追求しています。同時にシート成型加工工場の併設など、原料から最終製品まで

の一貫生産体制を活かし高品質の製品を提供しています。

- ・主な製品

別紙〈千葉工場の製品〉

2. 計量管理の概要

計量器の機種別台数を以下に示します。

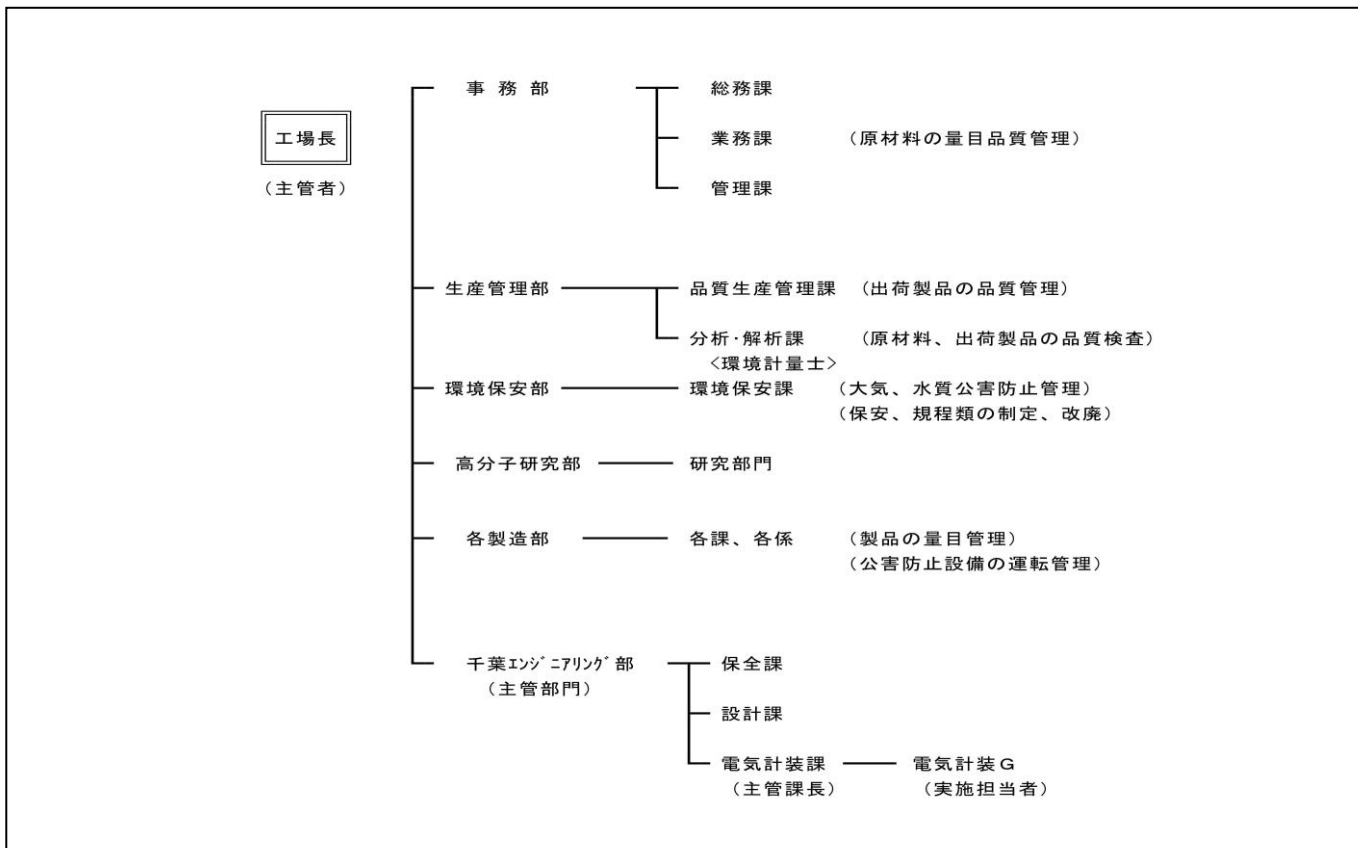
(1) 一般計量(測)器

・長さ計	35台
・質量計	325台
・温度計	2180台
・圧力計	3600台
・流量計(体積計)	1060台
・液面計	750台
・その他	90台

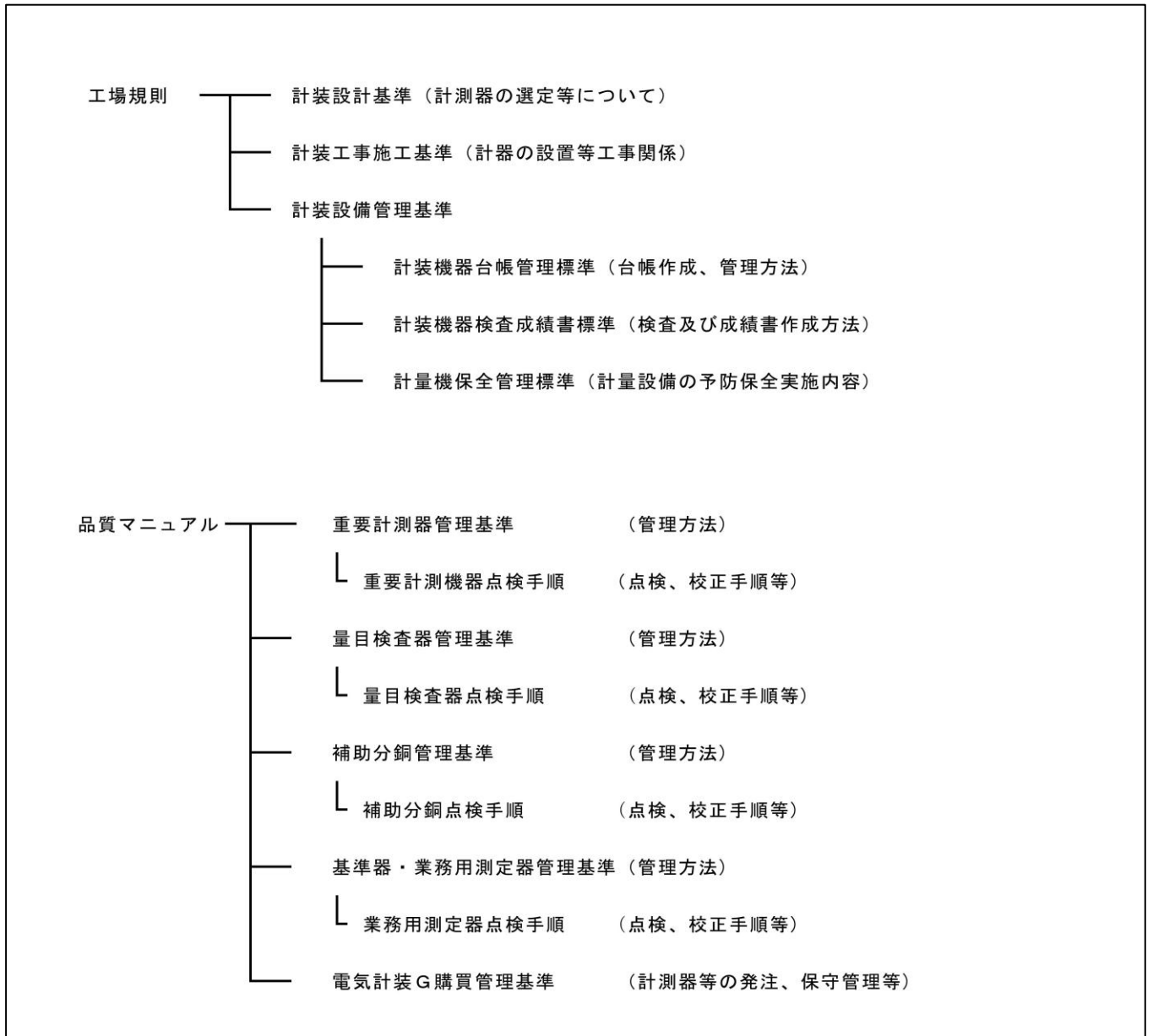
(2) 分析計

	環境用	一般用
・騒音計	2台	1台
・振動レベル計	1台	27台
・PH計	1台	23台
・大気濃度計	16台	3台

3. 計量管理実施の組織



4. 計量管理規程



5. 計量器の検査設備

(1) 基準器

1級基準分銅、ガラス製温度計、基準液柱型圧力計、基準分銅式圧力計

(2) 標準器

補助分銅、デジタルマルチメーター、ダイヤル抵抗測定、直流電流電圧発生器、デジタルマノメーター

(3) 検査設備

所有なし (外部委託による検査を実施)

6. 計量器及び計装設備の管理状況

(1) 検査

受入検査

新規購入品及び外注修理品については計装担当者が、仕様の確認、各メーカー及び下請負業者の出荷検査成績書の確認及び外観検査を行っています。

また必要に応じてメーカー、外注先工場にて受入前の立会検査を行っています。

定期検査

社内基準により機種、用途、重要度等に応じて、各装置の点検周期、点検項目を定めて実施していま

す。実施に際しては実施もれが無いよう年間スケジュールを策定し部門間の調整を経て行っています

また、年度単位の周期で行う定期検査に合格した計測器には、検査合格シールに年月を記し貼付しています。

臨時検査

計測器の異常を認めた場合や精度に疑義を生じた場合には、その状況を確認した後、臨時検査を行っています。

(2) 保守、点検

日常点検

計量（測）器の日常点検は、各係の日常点検表に基づいて点検を行っています。日常点検上での疑問・不明点については計装担当者が随時指導、教育を行っています。

異常処理の方法

使用中の計量（計測）器の異常が発生した場合、各係より連絡を受け、計装担当者が内容を確認・把握して修理を行っています。

修理不能な場合には予備器と交換等を行い、生産活動に支障の無いよう処置しています。

7. 量目及び品質の検査

(1) 原料

量目検査

ローリー受入については秤量30t及び40tのトラックスケールにて計量管理しております。

また、パイプラインによる取引についてはメーターを設置して、計量法に基づき定期的にメーカーへ持ち込み、実量チェックを行っています。

品質検査

基準書に基づき分析・解析部門で品質管理を実施しています。

(2) 製品

量目検査

袋詰めについてはオートチェッカー及び検費用はかりにて実量チェックを実施しています。

ローリー出荷については秤量30t及び40tのトラックスケールにて計量管理しております。

品質検査

基準書に基づき分析・解析部門で品質管理を実施しています。

8. 計量管理に関する改善活動

設備維持計画を立てて、計画的に老朽化した機器の更新を進めています。

9. ISO関連取得状況

ISO9001：2008 ISO14001：2004

OHSAS18001：2007

10. 教育・訓練

一般従業員

(社内教育)

主幹課講師による計量に関する教育

(社外教育)

各種技術研修会、講演会に参加

計量管理要員

(社内教育)

新設備プロセス教育

計量機新設及び更新教育

(社外教育)

各種技術研修会、講演会に参加

協力事業場

計量機等の取り扱い又は管理についての教育

以上、当工場における計量管理の概要を紹介させて頂きました。今後も、今回の受賞を励みに更なる計量管理活動の継続的改善に繋げていきたいと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

別紙 電気化学工業(株)千葉工場の製品群

製品分野	製品	主な用途	製造工程 原料	中間製品	工程	製品名
スチレン系樹脂	スチレンモノマー	ポリスチレン・ABS・クリアレンの原料	エチレン ベンゼン	エチルベンゼン	脱水素・精製	スチレンモノマー
	ポリスチレン(東洋スチレン)	電気製品・食品容器・OA機器	スチレンモノマー		重合>>脱揮>>造粒	トーヨー スチロール
	ABS樹脂	自動車部品・電気製品・OA機器	ブタジエン スチレンモノマー アクリロニトリル		重合>>脱水>>乾燥>>造粒	デンカABS
	耐熱ABS樹脂 変成マレイミド樹脂	自動車部品	スチレンモノマー 無水マレイン酸		重合>>脱揮>>造粒	マレッカ®
	透明樹脂	電気製品・OA機器・光学部品・包装材料	スチレンモノマー メチルメタクリレート (ブタジエン) (アクリロニトリル)		重合>>脱揮>>造粒	透明ポリマー
	クリアレン スチレン系特殊樹脂	食品容器・容器フタ材料・シュリンクフィルム・医療機器	ブタジエン スチレンモノマー		重合>>脱揮>>造粒	クリアレン®
アセチル系製品	酢酸ビニルモノマー	EVA・ポバールの原料・接着剤・塗料・包装用フィルム	酢酸 エチレン 酸素		反応>>吸収>>蒸留	酢酸ビニルモノマー
	EVA エチレン・酢ビ共重合エマルジョン	接着剤・塗料	エチレン 酢酸ビニルモノマー		重合>>脱モノマー	デンカEVA テックス®
	特殊合成ゴム エチレン・酢ビ・アクリル酸エステル共重合エラストマー	自動車部品	エチレン 酢酸ビニルモノマー アクリル酸エステル		重合>>仕上	デンカER®
樹脂加工製品	OPS 二軸延伸ポリスチレンシート	食料品包装用シート	ポリスチレン		押出>>二軸延伸	デンカサーモシートOPS
	PVC粘着テープ ビニテープ・ハーネス用ビニテープ	絶縁配線束・自動車電装配線	ポリ塩化ビニル		圧延>>接着剤塗布>>切断	ビニテープ・ハーネス用ビニテープ®
	雨どい	住設製品	ポリ塩化ビニル		押出>>仕上	トヨ雨どい・ウォールダクト
	コルゲート排水管	暗渠排水管・道路工事	ポリエチレン ポリ塩化ビニル		押出>>造管 押出>>造管	トヨドレン・トヨコルゲート管
塩ビ樹脂	ポリ塩化ビニル樹脂(大洋塩ビ)	建築材料(パイプ、雨どい、波板)・農業用フィルム・電線被覆・ソファァー・カバン用レザー	塩化ビニルモノマー		重合>>脱モノマー>>脱水>>乾燥	大洋PVC

◆◆計量検定所だより◆◆

当計量検定所は、「適正な計量の実施を確保し、経済の発展及び文化の向上に寄与する」という計量法の目的を実現するために、正確な特定計量器を供給するための検定や定期検査を実施するとともに、計量を正しく理解してもらうための啓発事業を推進しています。

計量に関する主な届等の問い合わせ先は、次のとおりです。

■総務企画課

- 適正計量管理事業所に係る指定申請及び変更届
- 指定製造者に係る指定申請及び変更届
- 一般計量・環境計量に係る証明事業の登録申請・変更届
- 特定計量器に係る製造・修理・販売に係る事業届
- 計量士（一般・環境）の登録等

■検定・検査課

〈検定班〉

- タクシーメーターの装置検査
- 基準器検査

- 質量計・燃料油メーター・液化石油ガスメーター・アナロイド型血圧計・圧力計・浮ひょう・温度計等の検定

〈検査班〉

- 特定計量器の定期検査
- 計量士の代検査に係る届出書

提出書類の様式は、千葉県計量検定所ホームページに掲載しています。

【検索方法】

「千葉県計量検定所」→「千葉県計量検定所が掲載している主なページ」→「様式ダウンロード」

〒263-0015

千葉市稲毛区作草部1-18-3

TEL 043-251-7209

FAX 043-253-8667

交通機関

JR千葉駅から千葉都市モノレール
作草部駅下車 徒歩5分



はかりのことならなんでも

- 各種はかり製造並びに販売
- 点検・修理・据付全般
- 制御盤設計・製作
- 計量処理ソフト設計・製作



Kubota
株式会社クボタ計装

千葉県船橋市藤原3-19-15
TEL 047-430-9031

《理事会だより》

1. 千葉県計量協会

平成27年度定時社員総会が、平成27年6月19日(金) ホテルプラザ菜の花において開催され、当会から会長以下3名が出席しました。

引き続き、付議事項として平成26年度事業報告、同年度収支決算及び監査報告の承認、平成27年度の事業計画案、同年度収支予算案の承認、当会における会員7団体の部会化(案)について承認、定款の一部変更(案)について承認、役員の改選について審議され、承認されました。

2. 発表会・研修見学会の開催

日 時：平成27年9月17日(木)

見学先：出光興産(株) 千葉工場
(公財)かずさDNA研究所

発表会：優良事業場として表彰された
出光興産(株) 千葉工場及び
電気化学工業(株)千葉工場に計量管理状況について、発表して頂きます。



平成27年度ポスター特賞作品

みおうぎ こういち 殿

出光興産(株) 千葉工場

計量器・計測機器

製造・販売・修理・保守管理
計量士による代検査・ISO関係検査

計量器・計測機器に関する御用は何でもご照会下さい



ETO
恵藤計器株式会社

本社・工場

住所 〒261-0002
千葉市美浜区新港142-3
電話 043(242)0505(代表)
FAX 043(243)2519
e-mail etokeiki@Saturn.plala.or.jp

恵藤計器株式会社は国際MRA対応
JCSS認定事業者に認定されました!

3. 11月「計量正確強調月間」の行事

講演・技術研修会として県計量検定所と千葉市及び県計量協会が共同開催する「計量管理基礎講習会」の参加を11月に計画しています。

議題等詳細は未定ですが、後日会員に案内をお出しします。

4. 意見交換会の開催

時期:平成27年11月12日

(予定)

計量・計装の管理について会員相互の情報交換と交流を目的として意見交換会を計画しますので、多くの参加を募集します。

後日会員に案内をお出しします。

5. 部会運営検討委員会の開催

第1回部会運営検討委員会が開催され、各種規程の制定、部会化後の会員の会費納入等、総会の運営などについて討議されました。

6. その他

本会報とは別に、第51次総会議案集を計量管理協議会HPへ掲載していますので、是非一読ください。

<http://www.chiba-keiryokanri.org/>

理事会において今年度の実務担当者が決定いたしました。このページに千葉県計量管理協議会実務担当者名簿を記載していますので御参照下さい。

千葉県計量管理協議会実務担当者名簿（平成27年度）

氏名	事業場名	事業担当
藤原 航 (会長)	富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所	研修委員長 広報委員
鵜澤 宏 (第一副会長)	丸善石油化学株式会社 千葉工場	広報委員長
真野 清 (第二副会長)	東燃ゼネラル石油株式会社 千葉工場	表彰委員長
小出 勉 (理事・監事)	KHネオケム株式会社 千葉工場	研修副委員長 (研修見学会、発表会)
河野 篤志 (理事)	恵藤計器株式会社	研修委員 (研修見学会、発表会)
川瀬 和宏 (理事)	東京ガス株式会社 袖ヶ浦 LNG 基地	研修委員 (研修見学会、発表会)
長久保 仁志 (理事)	東洋ガラス株式会社 千葉工場	研修委員 (研修見学会、発表会)
半田 和久 (理事)	日清製粉株式会社 千葉工場	研修副委員長 (意見交換会、講演会)
林 敏彦 (理事)	アズビル株式会社 アドバンスオートメーションカンパニー 千葉営業所	研修委員 (意見交換会、講演会)
井内 裕二 (理事)	ヒゲタ醤油株式会社	研修委員 (意見交換会、講演会)
伊藤 武則 (理事)	株式会社クボタ計装	研修委員 (意見交換会、講演会)
藤原 善治 (理事・監事)	JFEアドバンテック株式会社 東日本事業所	広報委員
村田 剛 (理事)	三共油化工業株式会社	広報委員

キャリブレーション・サービス

計測設備の検出端から表示装置までを含めた計量管理対象機器をISO9000s、医薬品GMP、HACCPなどの要求事項に適合した形でトータルソリューションサービスをご提供いたします。

お客さまとご相談の上、適切な実施計画をたてプロセスに最適な効率のよい計量管理をご提案致します。

実施提案

計量管理

キャリブレーションの結果から周期の管理や見直し、精度管理、さらにはデータの電子化にも対応いたします。

書類の準備

計量管理全般の基準を反映させ、個別の手順書を文書化していきます。勿論、お客様のフォームにあわせた形で提出可能です。

トレーサビリティ

キャリブレーション作業に用いた計測器（標準器）はすべて国家標準にトレーサブル。各種証明書、成績書は即時発行可能です。

キャリブレーション作業

作成された手順書に従いキャリブレーション作業を実施いたします。

実施提案

管理対象抽出
精度設定
周期設定
計量管理方法設定

書類の準備

管理機器リスト
計量管理要領
校正手順書
校正計画書
記録書フォーム

キャリブレーション作業

温度計校正
圧力計校正
その他の校正
記録書発行
ラベル発行

計量管理

周期管理
周期の見直し
精度管理
来歴管理

提出書類

一般計測器成績書
トレーサビリティ証明書
トレーサビリティ体系図
上位標準器成績書

キャリブレーションサービスでは、お客さまの立場に立ち、製品品質を維持するために何を管理対象にするか、どのくらいの校正精度、校正周期が必要か、などといった問題を解決し、対象機器のリストアップから手順書作成、校正作業、データの分析、有効期限管理、さらに校正手法、校正周期の見直しに至るまで、計量管理の全てを実現、最適な計量管理を達成いたします。

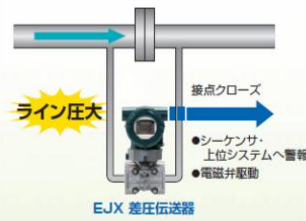
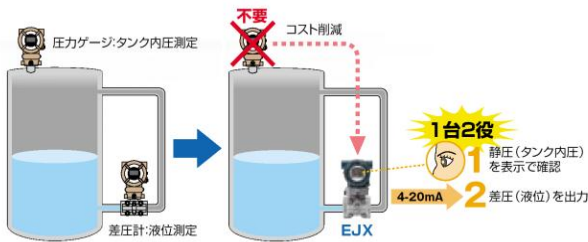
YOKOGAWA ◆

ご存知ですか?
デジタル・センシングの力!

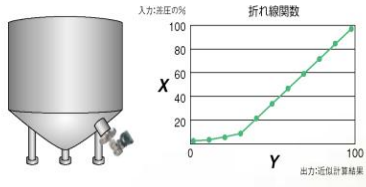
DPharpシリーズの大きな特長である「シリコンレゾナントセンサ」は、ヒステリシスが非常に小さいことで知られる単結晶シリコンのチップに、マイクロマシニング技術で2つの振動子を埋め込んだ、再現性・長期安定性に優れたセンサです。発売以来200万台以上の販売実績を持ち、世界のお客様より高い評価をうけています。



DP harp EJX™

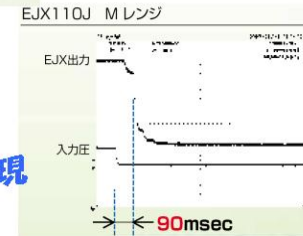


差圧/静圧を1台で
マルチセンシング



折れ線近似出力機能で
異形タンク等/非線形特性にも対応

世界最高水準の
高速応答を実現



新 Asset Excellence を実現する

フィールド機器設定/情報管理ソフトウェア

FieldMate™

Versatile Device Management Wizard

総合代理店

横河電機株式会社
■ 本社 〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
国内プロダクト営業 1部 TEL : 0422-52-6490

横河商事株式会社
■ 千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 541 小池ビル 4階
TEL : 0436-61-4310

横河ソリューションサービス株式会社
■ 千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 727-3
TEL : 0436-61-1388
2015年10月より
■ 千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 867

東京電機産業株式会社
■ 千葉支店 〒260-0825 千葉県千葉市中央区村田町 1211
TEL : 043-300-8611
■ 銚子営業所 〒288-0817 千葉県銚子市清川町 11-4-12
TEL : 0479-23-338



ほっと安心、もっと活力、きっと満足。
出光の約束

— 安心、活力、満足の提供 —

"Assurance, Greater Vitality and
Absolute Satisfaction:
The Promise of Idemitsu"

「ほっと」

お客さまに大きな安心と、
どこよりもあたたかいサービスを
提供します

「もっと」

高い理想と実行力によって、
暮らしと社会に明日の活力を
もたらします

「きっと」

先進の価値を追い続け、
お客さまや社会の期待に応える
満足を届けます

出光

出光興産株式会社

千葉製油所：〒299-0192
千葉県市原市姉崎海岸 2-1 TEL. 0436-60-1700

千葉工場：〒299-0193
千葉県市原市姉崎海岸 1-1 TEL. 0436-60-1700
<http://www.idemitsu.co.jp/factory/chiba>

本社：〒100-8321
東京都千代田区丸の内 3 丁目 1-1 TEL. 03-3213-3115
<http://www.idemitsu.co.jp>

Idemitsu Kosan Co.,Ltd.

Chiba Refinery: 2-1, Anesakikaigan, Ichiharashi, Chiba.
299-0192 JAPAN TEL. +81-436-60-1700

Chiba Plant: 1-1, Anesakikaigan, Ichiharashi, Chiba.
299-0193 JAPAN TEL. +81-436-60-1700

Head office: 1-1, Marunouchi 3-Chome, Chiyoda-Ku, Tokyo
100-8321 JAPAN TEL. +81-3-3213-3115

出光千葉
CHIBA